

# ホームページのご紹介

**HARIO**

**What's new?**

理化学ガラス製品について (4/21)

世界初のガラスバイオリン「玻璃王バイオリン」情報 (12/11)

今日のオススメ




大豆+にがりの最強コンビ！  
手作り豆腐、はじめてみませんか？  
詳しくはこちら

NEWS PAPER   企業インフォメーション   製品紹介

サービスサポート   耐熱ガラスの世界   ハリオフレンズ・ルーム

理化学ガラス製品   **HARIO Shop**   For business

ハリオグラス株式会社

## Welcome to www.hario.com

ハリオグラスのWebサイトでは、企業ポリシーから製品の紹介、製品についてのQ&A、ソフト情報までご提供しております。

**HARIO 3.0 ヴェリー**

〜サリシンのエコロジーの思想が、ハリオの製造工程の原点です。〜



最も美しいガラスとして輝き続ける「玻璃王」の命は、もともとハリオグラスでは、早くから環境問題に積極的に取り組んでまいりました。

例えば、安心して使える素材だけを厳選して製品づくりをおこなうことや、自然にやさしい自然由来の塗料を使用すること、限りあるその資源をリサイクル活用すること、空気を汚したり、さまざまな害を及ぼす産業廃棄物を出さないこと、ハリオの製造工程の原点です。

常に人間と自然との調和と向上をめざして考えられた私たちの経営がここにありまます。

**新製品情報 2009年**

3月24日新、ハリオの新製品をご紹介

◆おだし専用ガラス製、おだし専用ガラス	◆お湯専用ガラス製、お湯専用ガラス	◆お茶専用ガラス製、お茶専用ガラス
◆お湯専用ガラス製、お湯専用ガラス	◆お湯専用ガラス製、お湯専用ガラス	◆お湯専用ガラス製、お湯専用ガラス
◆お湯専用ガラス製、お湯専用ガラス	◆お湯専用ガラス製、お湯専用ガラス	◆お湯専用ガラス製、お湯専用ガラス
◆お湯専用ガラス製、お湯専用ガラス	◆お湯専用ガラス製、お湯専用ガラス	◆お湯専用ガラス製、お湯専用ガラス

**News release** **HARIO**

世界初のガラス製バイオリン  
「玻璃王バイオリン」完成



ハリオグラス株式会社では、当社の持つ最高級のガラス工芸技術を活かし、このたび、世界で初めてガラス製バイオリン「玻璃王バイオリン」を完成させました。

この「玻璃王バイオリン」は、機軸完成から完成まで約半年、14名のスタッフが黙々と作り続け、制作費は550万円（金型費250万円を含む）、現在ギネスワールドレコードに「ガラス製バイオリン第1号」として申請中です。

「玻璃王バイオリン」は耐熱ガラス製、重さ約1300g（木製バイオリンは約500g）で、試作段階で20年成形し、最終的に完成したのは2年でした。今年、1本は川井将平さんの演奏活動に活用、もう1本はハリオグラス株式会社にて保管されます。

演奏の音色は、音響学の進歩のために木製バイオリンの音色とは異なり、音の構成によって、独特の響きと味わいがあります。本日演奏した曲は、「玻璃王バイオリン」のために川井将平さんが特別に作曲した楽曲「White Song（ホワイトソング）」、「白い大空」で、奥の手に残った糸が、糸が絡み合うように、糸が絡み合うように、糸が絡み合うように...

**ONE/3000活動**

ONE/3000活動とは、1000名以上の参加者が、2002年10月より、1日以上のボランティア活動に参加し、1000以上のボランティア活動を実施しました。

互いに切磋琢磨することも、まずは最初の一歩から！ボランティア活動に取り組むハリオ社員も活動の輪を一緒にします。



1 社人キームでお楽しみのお茶会も開催しました。



「レンジでお湯を沸かす、レンジ用、レンジ用」

◆レンジが使えるってなに？

- 電子レンジでお湯を沸かしたことはありませんか？今は、電子レンジでお湯を沸かすのももちろん、互いのペースで使うことだってできてしまっています。
- 電子レンジでご飯が炊けるレンジ用、お湯が沸かせるレンジ用のお湯用、バスタブで作り湯野原サラダづくりにも便利なレンジ用バスタブも。
- 湯の沸かしやすさの電子レンジに、ハリオは「レンジ」という新しい機能を提供します！

◆どうやって使うの？＜耐熱ガラス製・レンジ用＞

1. 付属の計量カップにすりきり2杯分のお湯を入れて研ぎ、ホキ入れます。30分〜1時間ほどお湯を沸かしていただきます（お湯を沸かす場合は約15分でOK）。

**「レンジでお湯を沸かす」機能について**

① 安全はなぜできる？

A. 湯が沸騰（約100℃）を超えても湯は沸騰し続けることがない（電子レンジの加熱が止まる状態）。これを過熱状態といいますが、過熱状態にあるお湯は、ほんの少しの衝撃で溢れ出す、危険な状態になります。この機能を安全とします。湯が沸騰しやすくなるように設計されています。

また、「安全」は、スタンレス製の湯ならぬ比較的小さい鍋（保温性の良い鍋のこと）を使用してもお湯が沸騰しやすくなります。また湯火のそばで電子レンジでの加熱がある場合があります。



湯火直前＝過熱状態      湯火＝煮沸状態